

ごみの出し方、国崎・灰溶融炉廃止、舍羅林山の物流センター建設、

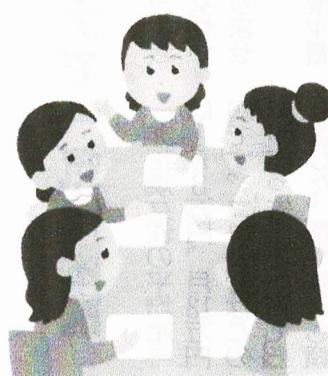
久しぶりの室内集会でじっくり報告させていただきました。

川西病院南側の市道廃止…

「川越のまちかどくじ」学習会を9月22日東谷公民館で開催し市の動きを報告させていただきました。毎月のたんぽぽだよりや「まちかどカワヒ」では紙面と時間の制約で十分に伝えきれない内容を、新型コロナ感染が落ち着いてきた時期に久しぶりに室内で開催。午前と午後、30人を超える方が参加してくださいました。

当日は、川西市では順調に行われている「ロナワクチン接種の状況をお伝えすると共に、
①来年度からはじまる「ごみの出し方の変更」、②国崎クリーンセンターの灰溶融炉廃止、③
舍羅林山の物流センター建設、排ガス基準値が、地域との「環境保全
④川西病院隣の市道廃止取り基本協定書」より緩くなるなどの問
消しを求める住民裁判、について題がありますが、市は「組合の運営な
て市の配布資料等をお配りしての関係ない」という姿勢です。これ
て説明。参加者から質問や意見でいいのでしょうか。

灰溶融炉の廃止は、ダイオキシン類総排出量が増加する、焼却灰等の搬出・埋め立て量が約6倍に増えるなどの問題・課題があります。



「A」みの出し方変更」では、ビン・ガラスのコンテナなくす物流センター、交通への影響

「舍羅林山」の物流センター建設については、交通量の増加予定ですが、市が各ステーションの管理でコンテナに代わる物を準備していること(アンケートへの心配の声が出されました。

南北直線距離が15km
の多い川西市、鉄道や交通の結節点
便利な街。安心・安全、防災・減災
の観点でのまちづくりを！

「市議会」新しい役員体制でがんばります！

川西市議会は、毎年、議長などの役員改選を行います。10月26・27日開催の臨時議会で、選挙の結果、久保義孝議長(まほろば)、大崎淳正副議長(公明党)、小山敏明監査(明日のかわにし)の3役などが決定しました。

それぞれの任期は、来年10月改選までとなっています。

私(黒田)は、10月25日まで監査を担っていましたが、今期、「日本共産党議員団・幹事長」として「議会運営委員会」に、「総務生活常任委員会」「市立病院整備調査特別委員会」「猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会」「男女共同参画審議会」に入って活動することになりました。皆さんのご協力やご指導のおかげで、20年が経とうとしています。引き続き、住民が主人公の立場で日々研鑽、元気で笑顔で自分らしく取り組みます

の抜本的見直しをするとしていたりました。議会での説明がまだの時期でしたが、今回表面でお知らせしている「市の事業見直し(再検証)」がはじまることもお伝えさせていただきました。(選挙期間中と重なって、たんぽぽだよりでの「」報告が運営と委託業者収集に分けるという変更です。

日本共産党議員団としても、市長、市は来年度から又集体別々に二つを約束して明会とします。今後も経過を報告させていただきます。

実施)、各家庭ではビニール袋の有償化で、「み出し用の袋を購入する分出費が増える」と、ビニールごみが増えるとの環境への影響、収集業務職員の破袋作業などの危険リスクがあり、リスクはきいことから懸念の声が多く出極力避けるべきである・・・などされました。

事前調査等の実施や数値等の情報公開を徹底する」と。「周辺住民」「近隣住民」とは誰を差すのか、など国道173号を利用される方は日々の生活への影響が大き

